

## 第1回 下関市総合計画審議会 議事概要

日時	平成31年2月19日(月) 10:00~11:40
場所	下関商工会館 3階 第1・第2研修室
出席者	下関市総合計画審議会委員 28名(欠席者8名) 事務局(下関市総合政策部企画課)

### 【次第】

- 1 委嘱状交付
- 2 副市長挨拶
- 3 会長・副会長の選任
- 4 諮問
- 5 委員自己紹介
- 6 第2次下関市総合計画後期基本計画の策定方針・スケジュール
- 7 下関市総合計画審議会の運営
- 8 下関市の現状と課題等
- 9 意見交換(各委員からの自由発言)

### 次第1、2、4、5：省略

### 3 会長・副会長の選任

会 長：下関市立大学 杉浦准教授

副会長：下関市社会福祉協議会 波佐間会長

### 6 第2次下関市総合計画後期基本計画の策定方針・スケジュール

### 7 下関市総合計画審議会の運営

### 杉浦会長

次第6、7について関連する内容なので、事務局より一括して説明をお願いしたい。

### 事務局

(資料1-1、資料1-2、資料2-1を基に、策定の趣旨、総合計画の構成と計画期間、策定作業の進め方、策定スケジュール、審議会の進め方について説明。)

## 杉浦会長

只今の説明についてご質問や意見は無いか

## 委員

自分が委員に応募した段階では、前回と同じ全体会を繰り返す審議会の進め方と認識していた。今回の進め方であると、自分が所属する部会以外の、他の部会の審議内容を把握することができず、全体会も2回しか行われぬ。これでは、内容について広く審議できず、ただ委員を集めて意見を聞いたという言い訳にしかならないのではないか。

## 事務局

確かに、全委員から全ての項目の意見を集めることは想定していない。しかし、全体会だと委員は36人であるが、今回の進め方だと、3つの部会に各12人配属されることが想定され、少人数で意見の出やすい環境になると考えている。委員が所属部会以外の分野について意見がある場合は、事務局経由で意見をお伝えいただけるようにしたい。

## 委員

本来であれば、なるべく全委員が参加するような審議会を開催するのが、市民の意見を聞くということだと考えている。それが不可能ならば、自分が所属する部会以外の各部会に、オーブザーバーとして参加することは可能か。

## 事務局

事務局で整理して、後日回答させていただきたい。

## 委員

3点お聞きしたい。1つは、基本計画が実施計画に縛られることになるのか。2つは、予算編成の段階で決まるだろうが、実施計画の優先順位はどうなるのか。3つは、5年という計画期間の長さでは、社会情勢、経済情勢が激変することがあり得る。その場合、計画期間の途中であっても、後期基本計画の内容の変更はあり得るのか。

## 事務局

基本的には、基本計画から大きく外れたことを実施計画で行うことはない。ただ、大きく社会情勢の変化があれば、変更もあり得る。実施計画の優先順位は、おっしゃる通り予算編成の中で決まるだろう。

## 8 下関市の現状と課題等

### 杉浦会長

次に下関市の現状と課題等について事務局より説明をお願いしたい。

### 事務局

(第2次下関市総合計画の概要並びに第2次下関市総合計画における施策の目標指標達成状況について説明。最後に資料3-2を基に人口推計、市民アンケート調査等について説明。)

### 杉浦会長

それでは、只今の説明について質問や意見はないか。

### 委員

資料を読み込んで理解する時間が欲しいので、審議会の開催の前に資料を配ってほしい。目標指標達成状況についてだが、国の統計不正の件もあり、達成状況は正しい数値なのか、という検討が必要ではないか。例えば、認定子ども園の数は0ヶ所から28ヶ所に増やすことが目標となり、現在の実績が20ヶ所なので「順調」としている。しかし幼稚園や保育園は以前からあったので、0ヶ所というのはどうなのか。前回と今回の数値で、調査対象が変わってやしないか。

### 事務局

数値について疑問があれば、ご指摘いただければ事務局から回答したい。認定こども園については、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている素晴らしい施設。今後は認定こども園を増やしたい、という観点から指標として設定した。既存の幼稚園、保育園ではなく、あくまでも認定こども園の設置目標ということをご理解頂きたい。

### 委員

自分は、実際に労働者からの相談を受けている立場にある。統計上では、「医療、福祉分野」で労働生産性が高く、付加額価値も高いと結果が出ている。しかし実際は、生産性が高いとはいえ、職員は派遣、委託、非正規が多い。統計と現場の感覚に違いがあり、この結果には疑問がある。

人口推計の結果も出ているが、旧郡部にも目を向けてほしい。中心部だけでなく、旧郡部も含めてゆたかで誇りのあるまちづくりをするために過疎化等について具体的に話し合うべきだ。

## 事務局

細かい数値で疑問があれば、可能な限り調査していきたい。

## 杉浦会長

統計資料は、あくまでも議論の材料。今後、どのように議論を進めるべきか皆様から意見が出れば良いと思っている。統計資料に縛られることなく、議論をすべき。

## 委員

中核市との比較指標があるが、施策の参考になる中核市(明石市は子育て支援に力を入れている)の具体的な情報について提示していただければと感じている。

各専門部会の議事内容は、次の他の部会の開催までに共有できるようにしていただきたい。前回の議事内容について、委員が紙などで意見を伝えられるよう対応を検討してほしい。

## 杉浦会長

部会の議事内容は公開できるか

## 事務局

時間の制約があるが、審議会・部会の議事内容については出来る限り早急に公開したい。委員の方のスケジュールもあるが、3つの部会が同時に開催される可能性は低いと思われる。後日回答するが、自分が所属する部会以外へのオブザーバー参加できる可能性もある。

## 杉浦会長

中核市の比較について、下関市は中核市の中で規模が小さいため、参考になりにくい面もある。それを踏まえて、統計はあくまで議論の材料として活用すべき。

## 9 意見交換

## 杉浦会長

これまでの議論で既に差し掛かっているが、広く委員で意見を交換できればと思っている。全委員が揃う機会が少ないので、ぜひこれから策定する後期基本計画について幅広く意見を言っていただきたい。

## 委員

国際大会の誘致や九州との道を整備することなど、具体的な計画が基本計画に入ってい

ないのでないか。

基本理念は、「まちの誇りと自然の恵みを未来へつなぐ輝き海峡都市・しものせき」とあるが、中心部だけのことで、旧豊浦町などは対象となっていないのではないかと。市全体を見て計画を策定してほしい。

#### 事務局

実施計画には事業について具体的に盛り込むことがあるが、基本計画は市の5年10年の方向性を定めるものである。そのため、具体的な事業が入っていることはほとんど無い。

市全体を見た基本計画が策定できていないのではないかとという意見については、指摘があったことはそのような部分があったということなので、市全体に視点を持った計画にしたいという思いを持ちたい。第1次総合計画策定時は、市町村合併時であったので、合併前の各町の想いを入れ、第2次総合計画でもその想いを引き継いでいるが、反映できていない部分があれば協議していきたい。

#### 委員

まちづくりというのは限界がある。というのは、国、県の施策があり、市が全てまちづくりの施策を行うわけでないからである。市が可能とする範囲で、まちづくりの方向性を定める必要がある。

#### 事務局

基本理念は、下関市といえば海峡と歴史は外せないとし、このように定めた。とはいえ、概要版の5ページから8ページの「まちづくりの将来像」は各地域の特性を全体に散りばめた計画になっている。今回、基本構想については大きく変更できないが、目標指標の設定等については、皆様の意見を聞きながら定めていきたい。

#### 杉浦会長

配布資料が多いので、読み込めない点が多いと思うが、次回に向けて読んでいただければと思う。それでは今後のスケジュールについて事務局にご説明をお願いしたい。

#### 事務局

今後のスケジュールについては、3つの部会の1回目を4月に予定している。第1回専門部会では、専門部会長と副部会長を選出していただきたい。また、第1回専門部会開催時に事務局から後期基本計画の素案を提出する予定である。

#### 杉浦会長

以上で、第1回審議会を終了したい。